

製品安全試験の方法は、全てが必ずしも同じではありません

Eastman Tritan™コポリエステルの開発に当たり、イーストマンは、業界で認められた試験方法により、強度や透明度といったTritanの主要特性を測定しました。

また、プラスチックの安全性は、消費者にとって重大な関心事であるという認識に基づき、規制機関や第三者試験機関に依頼して、Eastman Tritan™コポリエステルに関する独立かつ総合的なプラスチック安全性試験を実施しています。

- 厳格な試験の結果は、世界各国の規制機関によってそれぞれ独自に審査され、承認を受けています。Tritanは、以下にあげる健康・食品関連規制機関の認可により、多数の食品接触用途への使用が認められています。
 - カナダ保健省(Health Canada)
 - 米国食品医薬品局(U.S. Food and Drug Administration)
 - 欧州食品安全機関(European Food Safety Authority)
 - 中国衛生部(China's Ministry of Health)
 - ポリオレフィン等衛生協議会（日本）(Japan Hygienic Olefin and Styrene Plastics Association)
- イーストマンは、信頼のおける独立の第三者試験機関に依頼して、広く認められた科学的方法を用いて、Tritanのエストロゲン活性やアンドロゲン活性の有無を試験しました（[プラスチックの安全性についての良くある質問\(FAQ\)をご覧ください](#)）。実施した試験には、各種のコンピュータモデリング（定量的構造活性相関（QSAR））をは

じめ、モノマーや最終製品に対するインビトロ試験、インビボ試験も含まれていません。製品安全試験を実施した第三者試験機関は、以下の通りです。

- ニュージャージー医科歯科大学ロバート・ウッド・ジョンソン医学校薬理学部
(Department of Pharmacology, UMDNJ-Robert Wood Johnson Medical School)
 - シートックス社(CeeTox Inc.)
 - テネシー大学ノックスビル校、環境バイオテクノロジーセンター (Center for Environmental Biotechnology, University of Tennessee-Knoxville)
 - WILリサーチ・ラボラトリーズ社 (WIL Research Laboratories, LLC)
- 内分泌活性を評価するために実施したモノマー試験の結果、ならびに、エストロゲン活性・アンドロゲン活性試験に関する解説については、学術専門誌『フード・アンド・ケミカル・トキシコロジー(*Food and Chemical Toxicology*)』 (第50巻、第2号) に発表しています。

上記のような総合的なプラスチック安全性試験を通じて、Eastman Tritan™ [コポリエステル](#)については、最高水準のエストロゲン活性・安全性評価が実施されています。これらの試験方法や試験結果について、より詳しく知りたい場合は、[Tritanの安全性 — 安全性に関する事実](#)をご覧ください。このページのリンクから参考文献をダウンロードすることもできます。

他に具体的なご質問がある場合は、[電子メール](#)または電話 (888-321-6768) にてご連絡ください。

報道関係者の方へ：より詳しい情報をお求めの場合は、[Tritanメディアルーム](#)をご覧ください。